

「令和2年7月豪雨被災直売所復興応援 キャンペーン」について

堆積土砂の撤去を行っています

新型コロナウイルス感染症対策について

令和2年7月豪雨被災直売所 復興応援キャンペーン

ECサイトで県の農産物や加工品を販売します！

【日時】 本日（11/18）～令和3年3月（予定）

※予算上限に達したら終了

【店舗数】 16の直売所



令和2年7月豪雨被災直売所 復興応援キャンペーン



直売所の垣根を超えた詰め合わせセット



お買い上げの方全員にプレゼント

令和2年7月豪雨被災直売所 復興応援キャンペーン

被災した直売所を支援し、被災地の復興の一助に！



堆積土砂の撤去を行っています

◎ 7月豪雨の影響等により、**県が管理する河川や、管理型砂防堰堤に多量の土砂や流木が堆積**

	撤去が必要な土量	現在の進捗状況 (10月末時点)
県管理河川	県全体で約100万 m^3	約27万 m^3 工事契約済 ⇒うち約9万 m^3 掘削撤去済
管理型砂防堰堤	約11万 m^3 (16基)	約7万 m^3 (3基) 撤去完了

堆積土砂の撤去を行っています

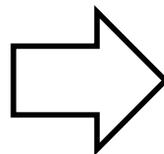
【県管理河川】

◎来年梅雨前までに、スピード感を持って、堆積土砂の撤去に取り組めます。

天月川（芦北町）の掘削状況



掘削前（R2.8.21）



掘削後（R2.9.1）

堆積土砂の撤去を行っています

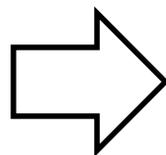
【管理型砂防堰堤】

◎ **来年梅雨前までに**、スピード感を持って、**堆積土砂の撤去**に取り組みます。

牧良川砂防堰堤（湯前町）の掘削前後の状況



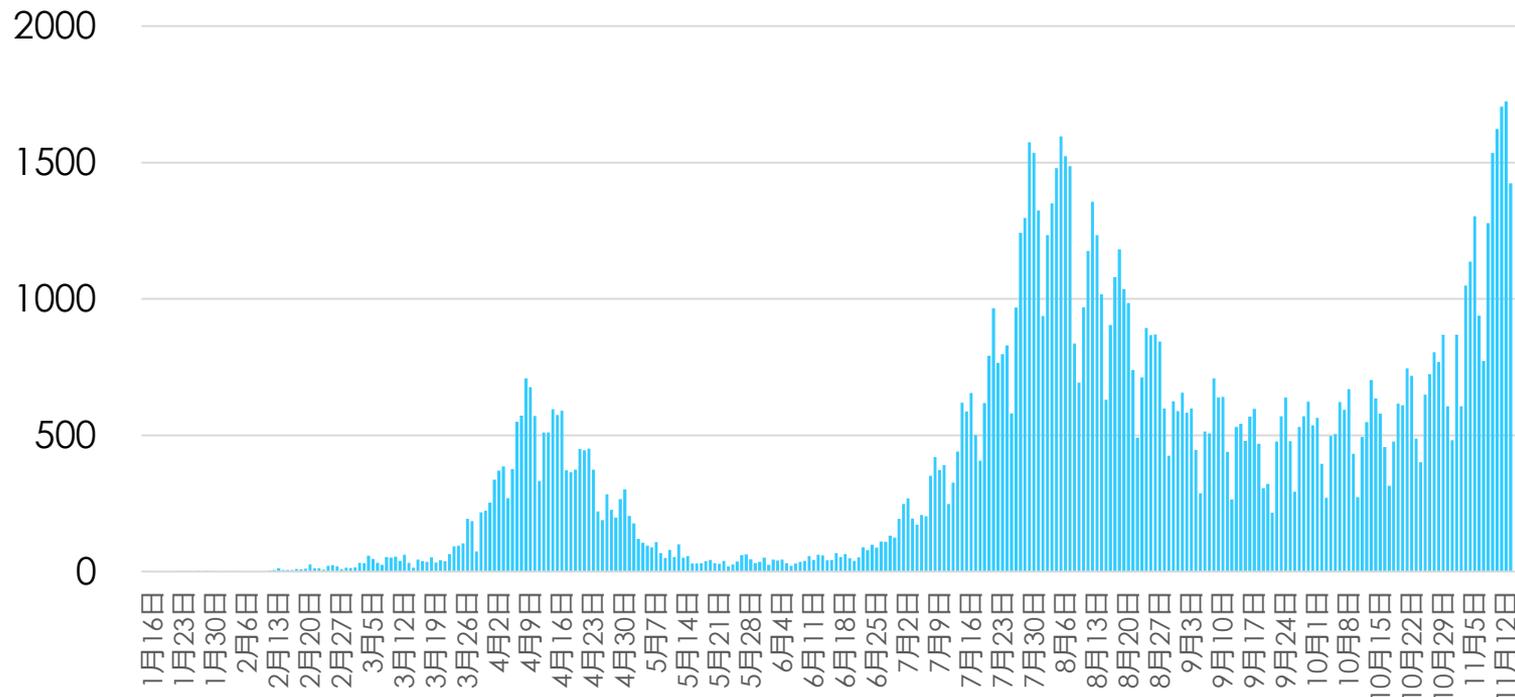
掘削前（R2.7.8）



掘削後（R2.10.30）

新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

報告日別新規陽性者数

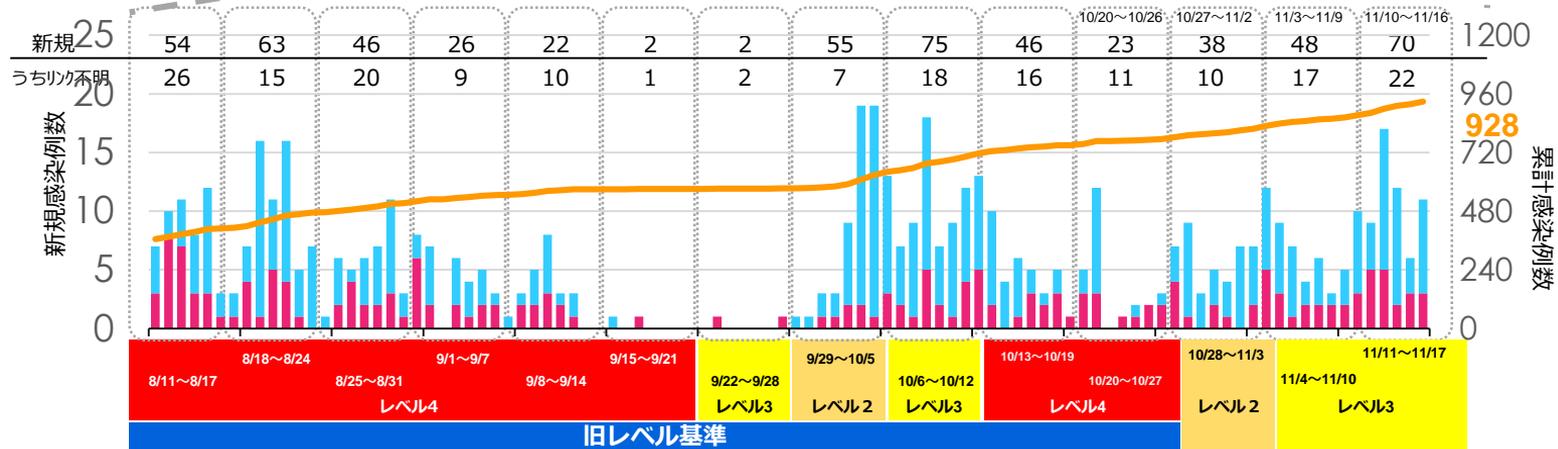
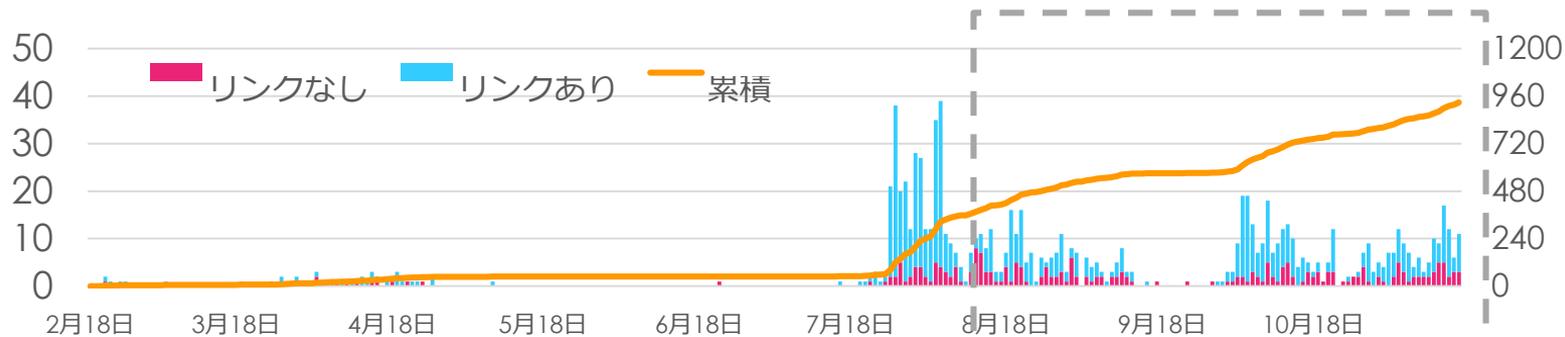


厚生労働省調べ

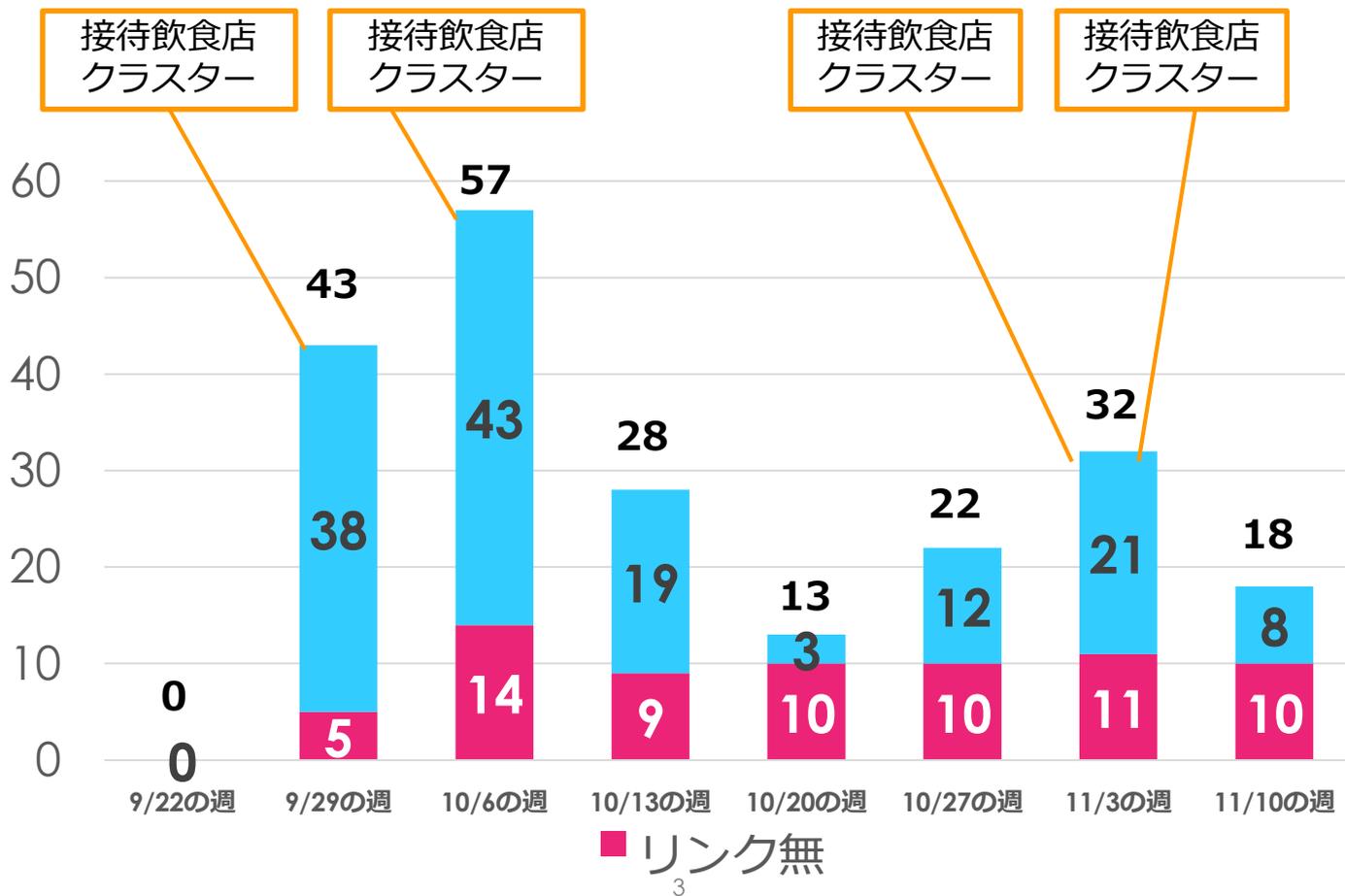
令和2年11月16日現在

熊本県の発生状況

令和2年11月16日現在
確定日ベース



熊本市の感染状況

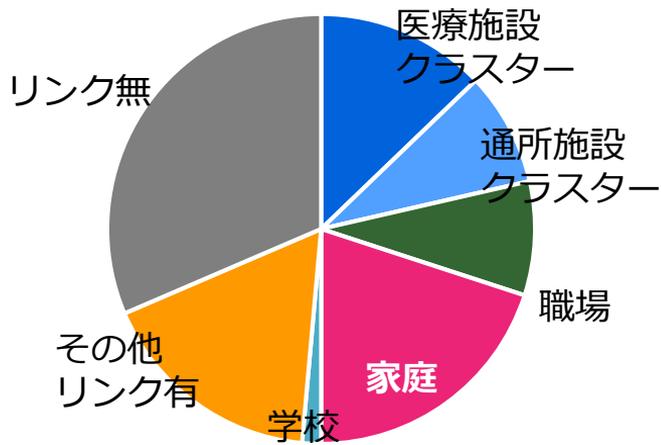


今週の各保健所ごとの感染状況

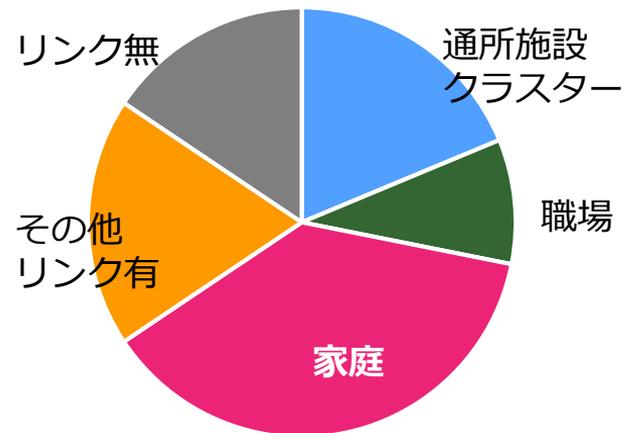
保健所名	これまで	先週 (11/10~11/16)	保健所名	これまで	先週 (11/10~11/16)
熊本市保健所	452	18	宇城保健所	27	0
有明保健所	168	32	八代保健所	24	3
山鹿保健所	54	0	水俣保健所	13	0
菊池保健所	47	4	人吉保健所	2	0
阿蘇保健所	38	9	天草保健所	6	4
御船保健所	27	0	計	858	70

今週確認された感染者の属性分類

県全体 70例



うち有明保健所管内 32例



熊本県の対策

歓楽街クラスター 対策の強化

- ・ 県市合同チームによる「踏み込んだ対策」
- ・ 中長期的な検査勧奨

施設クラスターへの 早期介入

- ・ C M A T 派遣による
 - 拡大防止
 - 施設の機能維持
 - 管轄保健所支援

診療・検査医療機関の指定

- ・ 5 8 1 機関を指定
→ 身近な医療機関での
検査・受診体制整備

宿泊療養施設の追加

- ・ 2 施設目の立ち上げを
準備中

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

【利用者】

- ・ 飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
②なるべく普段一緒にいる人と、
③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・ 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ・ 座の配置は斜め向かいに。(正面や真横はなるべく避ける)
(食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。)
- ・ 会話する時はなるべくマスク着用。(フェイスシールド・マウスシールド※1はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要※2)
※1 フェイスシールドはもともとマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マウスシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
※2 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・ 換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン★を遵守したお店で。
- ・ 体調が悪い人は参加しない。

【お店】

- ・ お店はガイドライン★の遵守を。
(例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。)
- ・ 利用者に上記の留意事項の遵守や、接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードを働きかける。

【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・ 基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・ 集まりは、少人数・短時間にして。
- ・ 大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・ 共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客(100名超)からの感染者は出なかった。

発熱などの症状があれば、
まずはかかりつけ医に相談しましょう



発熱患者専用ダイヤル
TEL:0570-096-567

だれだって
いつだって
感染しうるから、

思いやりの
咳エチケット



差別は
許されない